

③ 景観の保全・育成

○自然景観と調和した村づくりが重要であると考えており、「恩納村景観むらづくり条例」を基本に本年度は恩納村景観計画改定(案)の検討を行い、引き続き良好な景観形成づくりの誘導に努めます。

④ SDGs 未来都市

○2019年にSDGs 未来都市として選定を受けてから3年が経過し、2022年から第2期SDGs 未来都市計画に移行いたします。
SDGs 未来都市の事業につきましては、引き続き村民の皆様や関係者へ本村の取り組み等の普及啓発を実施し、ローカル認証制度及びグリーン・フィンズの導入や観光地のオーバーツーリズム等の課題解決を図ります。今後は社会面の課題に重点的に取り組み、地域の経済、社会、環境の三側面の自律的好循環創出に努めます。

⑤ サンゴの村宣言

○サンゴのむらづくりに向けた行動計画に基づき、サンゴ礁保全などの普及啓発アニメーション制作による自然環境保全の啓発を実施するほか、村内児童生徒へのサンゴに関する学習提供を実施します。
○サンゴ基金を活用し村内事業者のサンゴ礁保全再生活動を支援します。

(2) 土地利用の調和について

① 恩納村環境保全条例などに基づく土地利用の誘導

○本年度も「恩納村環境保全条例」を基本に良好な土地利用の誘導に努めます。

② 住宅などの確保

○継続して谷茶区定住促進事業に努め、他地区でも住宅確保に向けた取組を推進します。

③ 軍用地跡地利用の促進

○恩納通信所返還跡地につきましては、契約地主会及び開発事業者と引き続き連携を図りながらインフラ等の整備を実施し、跡地利用の早期実現に向けた取り組みを推進します。

(3) 生活環境の充実について

① 道路の整備及び維持管理の充実

○橋梁長寿命化計画に基づき、名嘉真川田第1号橋の橋梁架け替え工事を実施します。

○村道の除草作業等を実施し、万全な対策で維持管理に努めます。

② 上水道の整備

○耐震化事業による仲泊配水池整備や喜瀬武原地区送配水管の工事を実施します。

○水質管理の充実、施設の管理強化及び耐震化を推進し、漏水防止に努め有収率の向上を目指し水道経営の安定を図ります。

③ 下水道の整備

○農業集落排水事業による恩納第2地区管路工事、名嘉真地区管路工事を実施します。また、恩納第3地区の事業採択に向けて取り組みます。すでに供用開始している喜瀬武原地区、山田地区、恩納地区については、宅内配管接続を推進し施設の適正管理に努めます。

④ 村営住宅の整備及び維持管理

○村営住宅の整備につきましては、村民のニーズにより計画いたします。既存村営住宅の管理は、万全な対策で維持管理、計画的な修繕を実施します。

○沖縄北部特別振興対策事業で名嘉真団地の設計業務を実施します。

(4) 環境衛生の充実について

① ゴミ処理対策

○ゴミの減量化を推進するため、ゴミ分別収集の周知や再資源化の徹底を図るとともに、生ゴミを堆肥化するためのコンポスト使用を推進し、さらにマイバック使用の周知を図り、循環型社会(SDGs)の推進に取り組めます。

② ハブ対策の強化

○必要な個所にタイワンハブ等捕獲器の設置を行い、咬傷注意喚起活動や関係機関と連携・強化を図り駆除作業を実施してまいります。また、タイワンスジオ駆除について

ても、沖縄県と対策強化に努めます。

③ 墓地整備の促進

○恩納村墓地整備基本計画に基づき、墓地指定区域への個人墓の集約化を促進するとともに、今年度は恩納村墓地区画整備工事を南恩納で実施します。

(5) 安心・安全対策の拡充について

① 地域防災の推進

○新たに策定した恩納村国土強靱化地域計画に基づき防災基盤の整備や村民の防災意識の向上を図ります。

○防災対策整備事業として、仲泊区への防災備蓄倉庫設置や消火栓整備を実施します。

② 防犯・交通安全対策の推進

○地域の安心・安全な暮らしを守るための防犯対策として、LED型防犯灯の設置をさらに進め、新たに地域から要望がある集落内への防犯カメラ設置に関する事業調査を実施します。

○交通安全対策につきましては、子どもや高齢者の事故防止の強化を推進するとともに、以前より国道58号で発生している暴走行為に起因する騒音問題の対策として二輪車夜間交通規制を、石川警察署や地域・関係機関と連携しながら取り組めます。